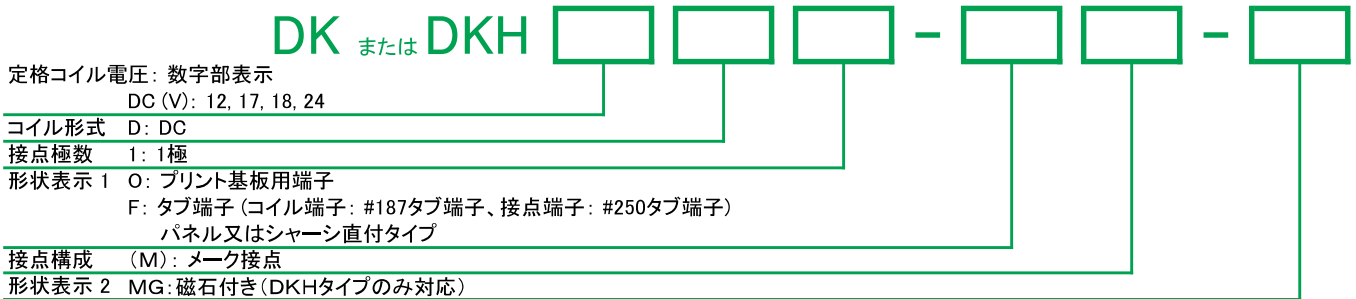


DKシリーズ

■ 特長

- 高電圧用機器の制御に特化した、特殊仕様のパワーリレーです
- 筐体(パネル又はシャーシ)に直接取付ける仕様と、プリント基板に搭載する仕様の2種類有ります
- 高電圧を扱うため、接点回路の接続は絶縁型のリセプタクルを使用いただけるように #250タブ端子を備えています
- DKタイプの場合 ○ 電子レンジの 50Hz/60Hz電源周波数に対応した高圧コンデンサの容量切り替え用に最適
- 高絶縁設計
- DKHタイプの場合 ○ コイルー接点間: AC5000V、1分間
接点相互間 : AC5000V、1分間
- 最大 DC500V 30A 遮断を実現
- DKH-MGタイプの場合 ○ 接点側に取付極性無し(充電/放電に対応)

■ 型番体系



■ 安全規格

電気用品安全法	準拠品
---------	-----

■ コイル定格

交直電圧	項目	定格電流 (mA)	コイル抵抗 (Ω)	動作電圧 (V)	復帰電圧 (V)	最大許容電圧 (V)	保持電圧 (V)	消費電力 (W)
				定格電圧に対する割合				
DC	12	75	160	80% 以下	10% 以上	110%	※② 55%~70% (DKHタイプのみ対応)	0.9 (コイル印加 100%)
	17	51.5	330	※① 150%~250% (印加時間 0.3~1s) DKHタイプのみ倍電圧吸引動作				0.27 (コイル印加 55%, DKHタイプのみ対応)
	18	50	360					
	24	37.5	640					

- ご注意: 1. 定格電流、コイル抵抗はコイル温度が20°Cにおける値で、公差は±10%です。
- 2. 動作電圧、復帰電圧はコイル温度が20°Cにおける値です。
- 3. 最大許容電圧はリレーコイル操作電源の電圧許容変動範囲の最大値で、周囲温度が20°C における値です。
- 4. 型番DKHリレータイプでは※①の倍電圧吸引動作として倍電圧吸引動作後は、必ず※②の保持電圧にてご使用下さい。
- 5. 型番DKHリレータイプでは コイルのサージ吸収としてはバリスタをご使用下さい。
ダイオードを使用した場合は復帰時間が長くなり、性能が保証されませんのでご注意ください。

※バリスタ選定目安

- バリスタ電圧: コイル定格電圧の1.5倍以上
- バリスタ電圧を高く設定するとサージ吸収の効果に影響が出ますのでご注意ください。

DECはリレーの専門メーカーです

DEC 第一電機株式会社

<https://www.j-dec.co.jp>